

---

**僕等が求めたモノ**

**第21話:地獄**

紫夜河 太桜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕等が求めたモノ

第21話：地獄

### 【Nコード】

N9575L

### 【作者名】

紫夜河 太桜

### 【あらすじ】

「僕等が求めたモノ」の第21話の部分です。

少し残酷過ぎるかなと思い、別に投稿させて頂きました。

## (前書き)

これは「僕等が求めたモノ」の第21話をちゃんと書いたものです。

第21話「地獄」のみなので本編を読まないと話が分からないと思います。

「……………俺以外の死刑執行人を見ていると思うんだ。…………俺もいつか、誰かを殺しても何とも思わなくなっちゃうのかな、って」

相手が罪人とはいえ、多くの命を奪うことになるのが死刑執行人だ。

誰かを処刑した日には必ず夢を見る。

思い出したくもない夢。酷い悪夢。

んだけど、何度も命を奪ったび嫌なのに慣れていってしまっ  
んだ。

慣れる

いや、心が麻痺すると言つべきだろうか。

命を奪うたびに、少しずつ、少しずつ、諦めにも似た絶望が心を支配して何も感じなくなる。

そして、それに耐えきれなくなった者の中には狂ってしまつる者もいる。

俺はそんな天使を一度だけ見たことがあった。

色んな奴の血が幾度も流れた処刑場。

その中で不気味に笑いながら、その天使は自分の愛剣を愛しそうに抱きしめていた。

今か今かと待つ様子はまるで無邪気な子供のよう。

そして罪人が処刑場へ通された瞬間、表情が輝くのだ。

処刑場はまるで闘技場のような所だった。

いや、闘技場と表した方がいい場所だった。

舞台の中には、罪人と狂った死刑執行人の二人しかいない。

彼らがいる場所を囲むように、そこには処刑の様が見学可能にするための観客席が設けてある。

そして、処刑場の中で始まるのは地獄。

罪人は恐怖に泣き叫びながら処刑場を逃げ回る。

得物を手にした死刑執行人は楽しそうに笑いながら罪人を追いかけて回す。

その様子をこれからの仕事の参考に と、無理矢理に観客席で見せられた俺は愕然とし、言葉を失った。

何だ、これは。

狂ってる 何もかも。

やがて罪人は狂った天使に追いつかれ、足を切り落とされた。

前のめりに倒れた罪人は狂った天使に服の襟を掴まれ、ズルズルと引き摺られて赤い線を地に描きながら処刑場の中央へ移動させれる。

絶叫が響き渡る。



その音声源は見るも無惨な姿へと変えられていった。

まるで殴るように、狂った天使は手にした剣で躊躇いなく罪人を肉片へと砕いていく。

呼吸するのが苦しい。

狂った天使は愉しそうに叫びながら罪人の命を狩る。

その場所で繰り返されるのはあまりにも残酷な光景。



(後書き)

どうぞしよう。

年齢制限なしで投稿するのはちょっと……と思ったので別投稿させて頂きました。

ちなみに本編はこの話の残酷だと思つところをカットしたものを投稿しています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9575/>

---

僕等が求めたモノ 第21話:地獄

2010年10月15日01時17分発行